

【ぎふ多胎ネットのマークの示すもの】



このマークは、多胎家庭を取り巻く人たちが得意なことを持ち寄り、心を合わせて連携することを意味しています。

- ♥保健師・子ども課や福祉課の職員など子ども関係の行政職。
- ♥医師・助産師・看護師などの医療関係者、教員や保育士などの教育関係者、大学の研究者などの専門職。
- ♥さまざまな子育て支援団体や多胎の先輩ママを含む子育て支援者。

どれが欠けても多胎家庭の支援は成り立ちません。



～ 活動を応援してください～

私たちの活動を応援しようという方を募集しています。多胎家庭への支援が継続できるよう支えてください。

年会費

- 《正会員》 10,000円
《賛助会員》①一般賛助会員 一口3,000円
②多胎家庭会員 一口2,000円
(いずれも一口以上)

会費・ご寄付は・・・

- ①ゆうちょ銀行（口座間送金が便利です）
記号：12430 番号：401411
名義：特定非営利活動法人ぎふ多胎ネット
- ②十六銀行
店名：多治見支店 店番：303
種目：普通預金 口座番号：1722949
名義：特定非営利活動法人ぎふ多胎ネット
理事長 糸井川誠子
- ③東海労働金庫
店名：多治見出張所 店番：524
種目：普通預金 口座番号：303667
名義：特定非営利活動法人ぎふ多胎ネット
理事長 糸井川誠子
- ④東濃信用金庫
店名：本店 店番：001
種目：普通預金 口座番号：1347005
名義：特定非営利活動法人ぎふ多胎ネット
理事長 糸井川誠子

特定非営利活動法人
ぎふ多胎ネット



ふたご・みつご家庭を
ハッピーに!



【連絡先】

理事長 糸井川 誠子

〒507-0814 岐阜県多治見市市之倉町 13-83-536

Tel/Fax：0572-24-2322

E-mail：gifu.tatainet@gmail.com

URL：http://gifutatainet.com/

【ぎふ多胎ネットの理念】

ふたご・みつごなどの家庭のことを「多胎家庭」と言います。

多胎家庭の虐待死事件のニュースは毎年のように耳にします。その度に私たちは胸がつぶれるような気持ちになります。「これは自分だったかもしれない」と思うからです。

ふたご家庭に知り合いがなく情報のない中で、単胎との違いに戸惑いながら不安で過ごした妊娠期。

リスクの高い出産。ほとんど寝ていない毎日の中で同時泣き・交互泣きにオロオロと対応し、どこにも出られず誰とも会えなかった育児期。私たちと事件を起こしてしまった彼女たちはそう遠くないところにいたはずなのです。紙一重です。

でも、おそらく、その紙一重の違いが大切なのです。私たちがなんとかやってこられたのは誰かの助けがあったから。誰かとつながれたからです。そして、大変な時を乗り越えた後には「ふたごを産んで本当に良かった！」と言える幸せが来ることも知っています。

ほんのわずかの違いで救える命があるのです。でも、私たちだけでできることには限界があります。医療・行政・地域保健・福祉・教育などの分野の人たちと連携しながら地域ネットワークで支援していくこと、またそれらを取り巻くたくさんの人たちの支えが必要です。

「ぎふ多胎ネット」は、多胎家庭の笑顔をみんなで支えていく社会をめざします。

全ての多胎家庭が健やかに幸せに暮らせる社会は、全ての人が健やかに幸せに暮らせる社会だから。

【活動】

ぎふ多胎ネットでは、妊娠期から出産後の育児期まで、多胎家庭への切れ目のない支援をめざし、次のような支援メニューを提供しています。

①多胎プレママパパ教室

多胎妊産婦家族対象の教室。内容は専門家による単胎との違いの講義と先輩パパママとの交流会などです。

② 病院サポート

多胎妊産婦が入院・通院している病院に、多胎育児経験者であるピアサポーターが定期的に訪問し体験を話しています。

③ ピアサポート訪問

ピアサポーターが、妊娠期から育児期までの多胎家庭を個別訪問し、相談に乗ります。

多胎児健診サポート

市町村の乳幼児健診などにサポーターを派遣し、受診の介助や相談に乗ります。

④ 多胎育児教室

県内各地で、おおむね0歳～3歳の多胎児親子を対象とした育児教室を開催しています。

⑥多胎のつどいサポート

行政や子育て支援拠点主催の「多胎のつどい」にピアサポーターを派遣し、参加者の相談に乗ります。

⑦多胎イベント

「多胎ファミリーフェスタ」など多胎家族向けのイベントや、多胎について関心をもってもらえるような一般向けのイベントを開催します。

⑧ 多胎に関する研修会の開催

当事者に向けた子育て研修会や、子育て支援者・保健師・保育士など専門職に向けた多胎支援研修会などを開催します。

⑨ 多胎支援に関する講師の派遣

多胎家庭の理解、多胎支援、多胎の子育てなど、依頼に見合った多胎に関する講師を派遣します。

⑩ 多胎支援の人材育成

多胎支援を担うピアサポーターやコーディネーター、多胎研修会の講師など支援に必要な人材の育成・管理をしています。

⑪ 情報・啓発

活動内容などを載せたニュースレター、多胎の手引き、県内多胎サークル・つどいの一覧など、多胎に関する情報の収集と提供を行っています。また多胎家庭の現状を社会に伝えるための『白書』の作成やホームページでの発信をしています。

